SEKI BUSINESS REPORT

第71期 中間報告書

2019年4月1日～
2019年9月30日

セキ株式会社
中・長期経営計画「Next200」

Next200 2017-2025-2035

証券コード：7857

株主の皆さまへ



代表取締役社長
関　宏孝

株主の皆さまには、日頃より格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

当社グループの第71期中間連結決算におきましては、後述の財務ハイライトにある通り前年同四半期に比べ増収増益となりました。当社グループが属する業界においては、引き続き企業の広告宣伝費を抑制する動きが継続しており、10月からの消費税増税等の影響が今後懸念されております。印刷用紙やインキの値上げなどの原価上昇要因があり、受注単価の下落等、厳しい経営環境下にあります。

当社グループにおきましては、中長期経営計画「Next200」を策定しており、2025年に売上150億円、営業利益7億5千万円の数値目標を掲げており、その目標に向け新規顧客開拓や既存顧客の深耕に注力した結果、首都圏・関西圏のみならず、四国圏内におきましても昨年度より良い業績を残すことができました。

今期の当社グループの最重要テーマは「生産性向上」であり、特に製造部門におきましては、省人化・自動化の設備投資を増やしております。また、今期より休日数を大幅に増やすなど働き方改革を推進した結果、人件費等は増加しておりますが、一人当たりの売上高、および付加価値額は増加傾向にあり、引き続き効率的な働き方改革を行っていきます。

新規事業として昨年度よりスタートしました水性フレキソ印刷加工事業におきましては、償却費負担や生産体制を早期に構築するための人員増強による人件費の増加など先行する費用が大きいものの、着実に受注を増やし売上は順調に推移しており、当初の計画通りに進んでおります。2019年11月末には、新たな水性フレキソ印刷機を導入し、生産能力を倍増させ、増加する需要に応えることができる供給体制を整えて参ります。

脱プラスチックに向けて日本の社会全体が大きく変化するなか、当社グループにおきましても、プラスチックから紙へ、またプラスチックはより環境にやさしいものへ、との考えの下、環境配慮型経営を更に推進して参ります。

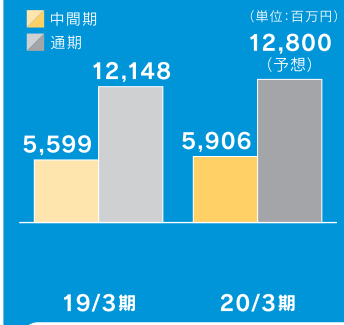
株主の皆さまにおかれましては、今後もなお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

中間配当金
12円
（通期24円予定）

財務ハイライト（連結決算）

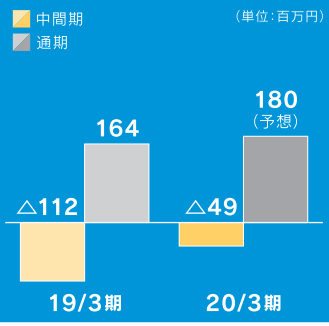
売上高

5,906百万円　前年同四半期比 5.5%↗



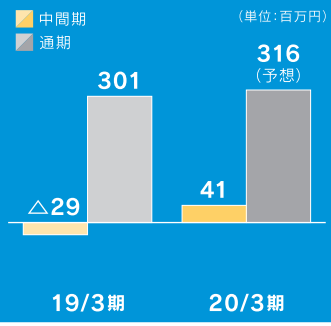
営業利益

△49百万円　対前年同四半期 +63百万円↗



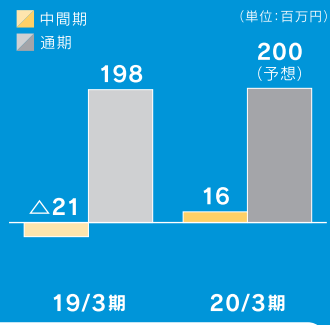
経常利益

41百万円　対前年同四半期 +70百万円↗



親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

16百万円　対前年同四半期 +37百万円↗



2020年3月期 通期予想

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益
12,800百万円	180百万円	316百万円	200百万円
前期比 5.4%↗	前期比 9.3%↗	前期比 4.8%↗	前期比 0.6%↗

1株当たり四半期（当期）純利益 ▶▶▶　2019年9月期 3円97銭　｜　（通期予想）2020年3月期 48円01銭

新事業のご紹介　えひめ食べる通信

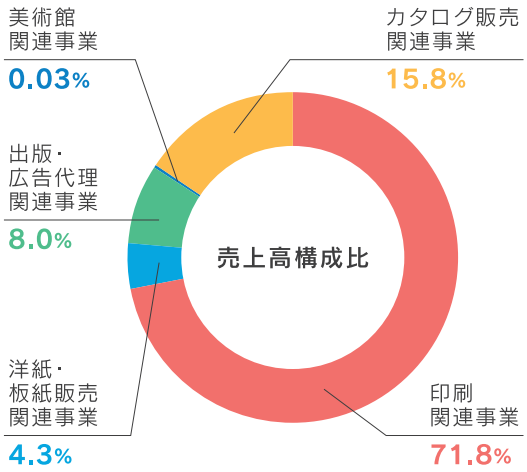
当社グループの生業の主軸である「印刷」・「情報」をベースに新たな事業を検討していく中で、私たちの生活から切り離せない「食」をテーマに、地域課題の解決に向けて取り組み、地元愛媛に貢献していく「食の地域商社」という構想が立ち上がりました。その第一歩としてマルシェ事業に取り組み、生産者と消費者が集う場づくりを行ってきました。次のステップが「えひめ食べる通信」です。つくり手の現状を「誌面」と「ネット」で全国に情報発信し、つくる人と食べる人を直接つなぐことで、愛媛の食の環境を豊かにすることを目指します。



創刊号

お申し込みは
こちらから

セグメント別の概況



印刷関連事業

企業の広告宣伝費の抑制傾向が継続して印刷需要が低迷する中、顧客ニーズに沿った企画提案営業の強化に努め、水性フレキソ印刷加工事業が順調に推移し始めたことにより増収増益。

▶ 売上高42億4千1百万円（前年同四半期比＋4.9%）
▶ 営業損失3千万円（前年同四半期は8千5百万円の営業損失）

洋紙・板紙販売関連事業

積極的な営業活動を行ったものの、洋紙価格の値上げに伴う市況の悪化や競争激化に伴う利益率の低下などにより、増収減益。

▶ 売上高2億5千5百万円（前年同四半期比＋8.4%）
▶ 営業損失1千1百万円（前年同四半期は91万円の営業損失）

出版・広告代理関連事業

既存メディアでの受注競争が激化する厳しい事業環境下、Web関連商材の提案営業の強化など業績確保に努め、減収増益。

▶ 売上高4億7千3百万円（前年同四半期比△1.0%）
▶ 営業損失3千6百万円（前年同四半期は4千6百万円の営業損失）

美術館関連事業

セキ美術館では、季節ごとに展示を入れ替えた所蔵作品展を開催しております。

▶ 売上高1百万円（前年同四半期比△8.1%）
▶ 営業損失1千2百万円（前年同四半期は1千4百万円の営業損失）

カタログ販売関連事業

オフィス関連用品通信販売業者におけるPB商品の販売が好調であったことや、新規商品採用への積極的なアプローチ、エージェントとして新規顧客開拓に努めた結果、増収増益。

▶ 売上高9億3千4百万円（前年同四半期比＋10.9%）
▶ 営業利益4千1百万円（前年同四半期比＋17.2%）

株式の状況および会社概要

株主および株主の状況

発行可能株式総数……16,000,000株
発行済株式の総数……4,508,000株
株主数……476名

大株主の状況

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
関　啓三	505,000	12.12
有限会社宏栄興産	480,200	11.53
関　宏成	472,000	11.33
セキ従業員持株会	220,800	5.30
株式会社伊予銀行	208,000	4.99
公益財団法人関奉仕財団	168,600	4.05
株式会社愛媛銀行	164,500	3.95
セキ取引先持株会	140,400	3.37
関　一	103,500	2.48
藤田多嘉子	102,500	2.46

（注）持株比率は、自己株式（342,557株）を控除して計算しております。

会社概要

商　　号　セキ株式会社
松山本社　愛媛県松山市湊町七丁目7番地1
東京本社　東京都渋谷区代々木三丁目2番8号
設　　立　1949年3月31日
資 本 金　1,201,700千円

役員一覧

代表取締役会長	関　啓三	取締役	岡田克志
代表取締役社長	関　宏孝	社外取締役	宮部高至
代表取締役副社長	土居尉二	常勤監査役	松長　茂
常務取締役	西上慎司	社外監査役	成松　勲
取締役相談役	関　宏成	社外監査役	十河嘉彦
取締役相談役	関　宏康	執行役員	大峰博之
取締役	藤原武彦	執行役員	板東良数
取締役	松友孝之	執行役員	関　宏晃

株主ご優待制度

■「セキ美術館」ご招待券
対　　象：3月末日及び9月末日の株主様
贈呈時期：3月末日現在の株主様　6月下旬
　　：9月末日現在の株主様　11月下旬

持株数	ご招待券贈呈枚数
100株以上	2枚
3,000株以上	4枚

■ 自社オリジナルティッシュペーパー 1ケース（20箱）
対　　象：3月末日現在、1,000株以上保有の株主様
贈呈時期：7月上旬

■ 自社カレンダー 1部
対　　象：9月末日現在、100株以上保有の株主様
贈呈時期：11月下旬


「セキ美術館」ご招待券

自社オリジナルティッシュペーパー



自社カレンダー

株主メモ

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所
大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（郵便物送付先）
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

（電話照会先）0120-782-031
（インターネットホームページURL）https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

GREEN PRINTING JFPI
P-B10260
この印刷製品は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。